

2013 年度統計関連学会連合第 3 回理事会・組織委員会 議事録

日時：2013 年 12 月 27 日（金）13:00～14:30

場所：統計数理研究所八重洲分室（八重洲ダイビル 104-105 号）

出席者：

【学会連合理事】

（一社）日本統計学会 鎌倉稔成、国友直人 応用統計学会 川崎茂
日本行動計量学会 日本計量生物学会 椿広計、大橋靖雄
日本計算機統計学会 栗原考次、石橋雄一 日本分類学会 今泉忠、竹内光悦

【連合大会実行委員】大森裕浩（次期委員長）

【連合大会運営委員】佐藤美佳（委員長）、山田剛史（副委員長）

【連合大会プログラム委員】栗原考次（委員長）

【幹事】小椋透

欠席者：

応用統計学会 岩崎学（委任状あり）、瀬尾隆（委任状あり）

日本行動計量学会 菊地賢一（委任状あり）

【連合大会実行委員】大屋幸輔（委員長）

【連合大会プログラム委員】西郷浩（副委員長）

配布資料

1. 2013 年度統計関連学会連合第 3 回理事会・組織委員会 議事次第
2. 2013 年度統計関連学会連合第 2 回理事会・組織委員会 議事録
3. 学術会議の夢ロードマップ
4. 日本学術会議
5. 2013 年度統計関連学会連合大会 決算報告、内訳明細書、請求書、会計報告
6. 2014 年度統計関連学会連合大会実行委員会 名簿

【前回議事録確認】（配布資料 2）

2013 年度統計関連学会連合第 2 回理事会・組織委員会議事録が配布されて問題ないことを確認された。

【報告事項】

1. 2013 年度連合大会の報告（配布資料 5）

佐藤実行委員長より、2013 年度統計関連学会連合大会の収支報告等の説明が行われて、

瀬尾監事の会計監査報告が配布された。

2013 年度統計関連学会連合大会は、参加者増による収入増と支出減で予備費が増えたが、連合大会の収支は年により 300 万円程変わることがあるため予備費として残しておくことが確認された。今後も予備費が増えた場合は、各学会に配分、シンポジウム開催などの案が出された。

【審議事項】

1. 2014 年度連合大会：プログラム委員、運営委員、組織委員の承認

(1) プログラム委員会

各学会から推薦された 1 名または 2 名の委員が承認された。副委員長（次期委員長）は、第一候補に立教大学・山口和範氏、第二候補に名古屋大学・松井茂之氏、第三候補に、岡山理科大学・森裕一氏、第四候補に高橋邦彦氏とすることとした。山口氏への依頼は鎌倉理事長が行い、松井氏への依頼は椿理事が行う。

(2) 実行委員会

大森次期実行委員長より、17 名の実行委員会の報告された（配布資料 6）。

(3) 運営委員会

各学会から推薦された 1 名または 2 名の委員が承認された。副委員長（次期委員長）は、岡山大学・坂本亘氏を候補とする。ただし、坂本氏は日本計算機統計学会からプログラム委員として推薦されているため、日本計算機統計学会のプログラム委員と運営委員の入れ替え等の調整が必要となる。

委員長推薦で寺尾敦氏（青山学院大学）、久保紗織氏（早稲田大学）を追加することとした。

3. 2014 年度連合大会各委員会からの報告

(1) 実行委員会

大森次期実行委員長より、9 月 13 日開催の市民講演とチュートリアル講演者の講演タイトルが報告された。場所は補修工事予定の状況により、2、3 月頃に決定見込みと報告された。

(2) 運営委員会

山田次期運営委員長より、株式会社アイ・エス・エスと手順、見積もり等の確認を行ったこと、メーリングリストを稼働したことが報告された。佐藤運営委員長より、2013 年度は、株式会社アイ・エス・エスの見積もりの段階では金額が高かったが、交渉で金額が低くなったことの説明が行われた。

4. その他

[1] 雑誌「統計」原稿料の寄付

鎌倉理事長より、明細資料が提示されて確認された。

[2] 学術会議の夢ロードマップのシナリオ（配布資料3）

鎌倉理事長より、俯瞰図に信頼性工学が付け加えられたことが報告された。

[3] 日本学術会議の講演会、シンポジウムについて（配布資料4）

鎌倉理事長より、講演依頼があつて承諾したことを報告された。

[4] 過去の統計関連学会連合大会予稿集

前年度の予稿集は販売とし、それ以前の予稿集は無料配布とすることを確認された。

[5] 統計関連学会連合大会予稿集の国会図書館の寄贈について

今泉理事より、2003年、2004年の予稿集については、国会図書館に所蔵済であることが報告された。2005年～2013年の予稿集についても国会図書館に寄贈することとし、鎌倉理事長からシンフォニカの田沢氏にお願いすることとする。予稿集のISBNは今後の検討とする。竹内理事より、ISBNを取得するには住所を必要とすることが報告されて、シンフォニカの住所を用いることを確認された。

[6] 2015年度統計関連学会連合大会の日程について

栗原理事より、9月6日の市民講演とチュートリアル、9月7日～9日に大会の日程案が提示された。その日程に他の学会等がある場合は、栗原理事へ連絡をすることを確認された。

[7] 2016年度統計関連学会連合大会の開催場所について

名古屋地区を候補に加えることを確認された。鎌倉理事長、岩崎副理事長で開催場所を選定する。

[8] 数学に関するシンポジウムの開催について

鎌倉理事より、日本統計学会に、文部科学省数学イノベーションユニットからシンポジウムへの後援と広報の協力の依頼があつたことが報告された。統計関連学会連合で協力することが提案されて承認された。シンポジウムの詳細が決定した後に、各学会でHPへの掲載やメーリングリストによる情報提供を行う予定。

（文責：小椋 透）